

かいほつ

68号

題字 常磐小学校
6年 浅井 崇弘

岡崎市現職研修委員会
特別支援教育部会
平成25年2月4日発行



「いくつがでたかな」
—自分たちでするくをやったよ—

(城南小)



忘れられない学芸会

東海中学校長

海藤 茂実

今から二十年以上も前のことです。縁あって私は附属岡崎小学校に勤務していました。その小学校と隣接して、愛知教育大学附属養護学校（現・附属特別支援学校）があります。三学期のある日に、養護学校の学芸会が行われていることを看板で知りました。そして何かの折に職員室へ出向いたところ、ある先輩の先生から次のように言われました。

「海藤君。一度お隣さんの学芸会を観ておくといいぞ。きっと勉強になるから。」

忙しい毎日の私にとって、正直申せば「困ったなあ」というのが本音でした。そんな思いを抱きながら会場に入りました。ちょうど次の演目が始まるうとしています。今まさに高等部の劇が始まるどころだったのです。

さあ、いよいよ始まりです。発声や動きのぎこちなさは予想した通りでした。劇の内容については残念ながら記憶にありませんが、さてそこで私が目にした光景とは……。

劇も中盤に差し掛かった頃だったと思います。体格の立派な一人の生徒の熱演中、はいている薄茶色のズボンに明らかな異変が見て取れたのです。それは股間辺りの色が次第に変わったことです。誰の目にも「お漏らし」と映ったことは否定できません。私はとっさに思いました。誰かが一時的に舞台袖に連れて行き、それなりの応急処置をするだろうと。しかし何事もなかったように劇は進むばかりです。そして周りをうかがいきよるきよるしているのは私一人だったのです。それどころか多くの保護者がハンカチで目頭を押さえながら、じつと参観していたのです。

この時私が目にした事実は極めて重く、そして強く心を打ちました。きっとあの時のお湿りは、彼の頑張りによるキラキラ光り輝く「汗」だったに違いないと。だからこそ、あの場にいた多くの観客は身じろぎもせず、我が子、我が仲間を見守ることができたのでしょう。

今までに数多くの学芸会を参観しましたが、この劇だけは忘れることができません。本当の「感動」とは何かを、私に教えてくれたのです。

子どもと親の集い

ブロック交流会

仲良くできた交流会

矢作北ブロック

矢北中 二年 山中 祐輝

ぼくは、ブロック交流会で特に楽しかったことは、サッカー、ボウリングの係をしたことです。クロスパズルや「うおうおランド」も面白かったです。

司会の練習を何回もやってきて、しつかりできました。

来年も楽しい交流会をしたいです。



▲岡崎の心「徳川家康」のお話

他の学校で一番おもしろかったレクは、竜美丘小の手つなぎ鬼です。最初はうまくよけていましたが、後ろから鬼が来たことに気づかなくて、つかまってしまいました。一日楽しく過ごせることができました。



▲レクの説明をしたよ

楽しかったブロック交流会

竜海ブロック

六名小 六年 伊藤 隆優

「美合青年の家」でブロック交流会がありました。六名小は、みんなが楽しめるような、レクを一つ行うことになっていました。ぼくたちは、ボール送りリレーをすることにしました。

学校で、説明の練習をしました。長い説明だけど、ゆつくり分かりやすく言うように心がけました。本番では、少し緊張したけど、上手にできました。景品に、さつまいものつるで作ったリースを渡しました。

他の学校で一番おもしろかったレクは、竜美丘小の手つなぎ鬼です。最初はうまくよけていましたが、後ろから鬼が来たことに気づかなくて、つかまってしまいました。一日楽しく過ごせることができました。

やればできる

東海・額田ブロック

東海中 三年 鈴木 智子

今年は東海中の三人で会の運営をすることになり、とても不安でした。でも、準備していくうちにそれがわくわくの気持ちに変わっていきました。当日は練習した通りにがんばりました。その中で特にうれしかったことが二つあります。一つは、学校紹介で、自分が作ったブラウスとパンツを着てファッションショーをしたとき、「かっこいい。」と言ってもらえたことです。もう一つは、ゲームコーナー「さわって当てよう！」で小学生のみんなが笑顔で遊びに来てくれたことです。

このブロック交流会を終えたとき、一生懸命にやればその気持ちがみんなに伝わるんだなあと感じました。とても楽しい一日でした。



▲ゲーム「さわって当てよう！」

▼各ブロック交流会の内容

北・岩津	模擬店、「葵」武将隊招待、ふれあいゲーム
新香山・常磐	ふれあいゲーム、地域に関する交流行事
葵・城北	模擬店、クリスマス交流会、ひなまつり交流会
甲山	ふれあいゲーム、クッキー作り
美川	少年自然の家でのデイキャンプ、ふれあいゲーム
東海・額田	七夕交流会、ふれあいゲーム
南・福岡	学校紹介、みんなで踊ろう、みんなで歌おう
竜海	食事作り、ゲーム大会
竜南	カレー作り、カルタ取り、リトミック、クリスマス交流会
六ツ美・六ツ美北	模擬店、ビッグオセロ、卒業おめでとう交流会
矢作	模擬店、ふれあいゲーム、流しそめん、もちつき交流会
矢作北	じゃんけんゲーム、読み聞かせ、ふれあいレク、模擬店

交流会の実施に当たっては、ブロックごとに綿密な計画を立てて臨みました。特に、「岡崎の心の醸成」に力を入れ、三根五葉汁風の豚汁作り、「岡崎に縁のある事柄を題材にした神経衰弱ゲーム」など、趣向を凝らした活動が盛りだくさんで、どのブロックも大変盛り上がりしました。

子どもたちは、岡崎に触れた活動やふれあいゲームなどを通して、ふるさと岡崎について学んだり、友達やいろいろな人と楽しくかわりをもったりすることができました。

小学校研究発表会

大樹寺小 教諭 吉橋 祐子

特別支援学級では、昨年度よろいづくりを手掛けたことから、今年度はパージョンアップを図ろうと、「具足づくり」を題材に、ペア学習を進めてきました。牛乳パックとガムテープを素材に、「すねあて」「こて」「かぶと」を作ることにも挑戦しました。研究発表会では、かぶとの上部(まえだて、わきだて付け)と下部(しころづくり)の制作場面を取り上げ、六組は「しころづくり」、七組は「まえだて、わきだて付け」の授業を公開しました。

完成した具足一式を、ブロック交流会で披露することができました。



▲かぶとをかぶると強そうに見えるよ

惠田小 教諭 山本 友宇子

十月十日、「自ら進んで学び続ける子の育成」を研究主題として、本校で研究発表会が行われました。

特別支援学級では「作ろう、私だけのクイズ」を題材に、相手を意識してクイズを考える授業を行いました。授業に対する保護者からの「Aちゃんのクイズ、楽しみにしているよ」のコメントを導入で活用することで、意欲を持ってクイズ作りに取り組むことができました。また、「どんな料理に使うの」「お腹の中はどうなっているの」などいろいろな角度から観察できるようなヒントを展開部分で保護者がビデオで語りかけることで、いろいろな特徴を見つけようと学習意欲が高まりました。

授業内容を学習ノートにまとめることで、保護者の方が今学習している学習内容を把握することができ、学校と家庭との連携も深めることができました。

今回作ったクイズは「Aちゃんクイズ」と題してクイズブックにまとめ、交流学級の友達相手に自信を持って出題し、交流を楽しんでいます。いろいろな機会に活用できることを楽しみにしているAちゃんです。

大樹寺小 惠田小

県教研報告

竜海中 教諭 鈴木 はるみ

十月十二日に第六十二次教育研究愛知大会が行われ、「学習指導」「人とかかわる力を育てる指導」「特別支援教育をどうすすめるか」の三つの柱で発表があり、活発な討論がされました。

発達段階や個別のニーズに合わせ工夫された教材や教具は、取り入れてみたいものばかりでした。また担任だけでなく、コーディネーターや特別支援協力員、医師、保護者で支援体制を整え役割分担し、情報を交換してチームで支援を進めることで効果的に目標を達成することができたという事例には、支援体制を作る大切さについて考えさせられました。ユニバーサルデザインへの考え(気がかりな姿のある子どもに対する特別な配慮が、すべての子どもにとっての分かりやすさにつながる)を取り入れた事例も多く、今後は特別支援教育の考え方が教育現場全体に広がっていくのだと感じました。

授業の約束

- ① あいさつは元気にさわやかに
- ② 名前を呼ばれたら返事!返事は「はい」
- ③ 発言は手を挙げて

「～です」「～だと思えます」

- ④ 最後までしっかりと話す
- ⑤ 人の話は最後までよく聞く

▲授業の約束

秦梨小学級紹介

秦梨 大好き! たんぼぼ組 秦梨小 教諭 金原 恵子



▲秦梨はがき完成!



▲奈良公園にて

たんぼぼ学級では、「秦梨大好き!」をテーマにしてふるさと学習を行っています。豊かな学区の自然、史跡、そして、「にこにこ山」と名付けられた学校の裏山、学校の前を流れる乙川などに足を運び、季節を感じ、その季節ならではの活動を楽しむことで、ふるさとを愛する心を育てる取り組みをしています。

本年度は、学級園で育てたケナフを使った活動を行いました。ケナフの茎からパルプを作り、その中に、学区を歩いて見付けたお気に入りの葉をすき込みました。世界に一枚の秦梨はがきの完成です。そして、そのはがきを使って修学旅行先から家族あてに手紙を送りました。遠く奈良から、ふるさと秦梨を思う良い機会になりました。

これからも「秦梨大好き!」の気持ちがいよいよ大きく育つような楽しい活動をしていきたいと思います。



卒業を前に親子の思い

友だちといっしょ

矢北小 六年 近藤 龍一

ぼくは、交流学級の友だちといっしょにすごせたことが一番うれしかったです。交流学級のみんなどは、いっしょに勉強したり、いっしょにあそんだり、いっしょに話をしたりしました。けんかをしたこともいい思い出です。

体育でとびばこをやったときには、先生や友だちが手のつきかたをおしえてくれたり、ほじよをしてくれたりしました。みんなといっしょにすごすことができ楽しかったです。

六年間がんばったこと

矢北小 保護者 近藤 光代

だれにでも挨拶ができる子になってほしいと願い、小さい頃からいつも家で話していました。そのことは、六年間守り続けてくれました。

学校では、低学年のときには参加したくないと言っていた水泳大会やマラソン大会にも、楽しく参加することができるようになりました。

多くの方に支えられ、成長することができたと感じています。中学に入ってから頑張ってくれることを願っています。

卒業を前に思うこと

額田中 三年 赤坂 雄斗

ぼくは、三年生のときに行った修学旅行が、とても印象に残っています。上野動物園では、ゾウのなき声を初めてききました。パンダは、ササをいっぱい食べていました。食べ過ぎていたと思いました。

ぼくは、人を助けられる「やさしい人」になりたいです。そのためには、みんなのことを考えて、ぼくのできることを見つけて、やっていきたいです。



ありがとう額田中

額田中 保護者代表

息子の卒業を間近にし、最近、額田中で出会ったすべての人々に感謝の気持ちがあふれてきます。素晴らしい出会いと思いい出をありがとう。

息子の子育ては決して簡単なものではありませんでした。しかし、息子のお陰で得たものもたくさんありました。私共両親は、息子はいいアプルーチをすれば何歳になっても成長できると信じています。息子の夢、三十歳での結婚に向かって、これからも努力を続けたいと思います。

中学生の卒業後の進路

担任や進路担当者の柔軟な考え方が定着し、通信制・サポート校などの選択肢が見られるようになりました。今後も、進路の多様化が見込まれます。

進路希望先	男	女	計
愛知教育大学 附属特別支援学校	0	0	0
みあい養護学校	13	7	20
豊川養護学校本宮校舎	0	1	1
豊田高等養護学校	5	2	7
半田養護学校桃花校舎	2	2	4
岡崎養護学校	1	0	1
高校(定時制)	2	0	2
高校(全日制)	0	0	0
専修学校	2	3	5
通信制・サポート校	1	1	2
春日台職業訓練校	2	0	2
就職・その他	1	1	2
合計	29	17	46

(二月一日現在)

今年度の表彰

岡崎市読書感想画コンクール
教育委員会賞

矢西小 石濱 大夢

MOA美術館岡崎児童作品展
岡崎市議会議長賞

矢西小 神谷 真由

「家庭の日」啓発ポスター
優秀賞 福岡小 近藤 颯来

CBCC子ども未来キャンペーン
こども絵画展2012
入選 六名小 森口 耀
入賞 六名小 天野 武龍

岡崎市技術・家庭科作品展
技能コンテスト二位
竜南中 山本 護
額田中 清水 大聖
東海中 鈴木 智子
竜海中 丹羽 智美

今泉 陽太
大嶽 万樹
木藤 千里
柴田えりな
山口 将典

顕彰児童生徒
矢作中 平澤 広大

明るい選挙啓発ポスター
南中 林田 佑香

県特推選
顕彰児童生徒
矢作中 平澤 広大

顕彰児童生徒
山口 将典

顕彰児童生徒
山口 将典

顕彰児童生徒
山口 将典

顕彰児童生徒
山口 将典